

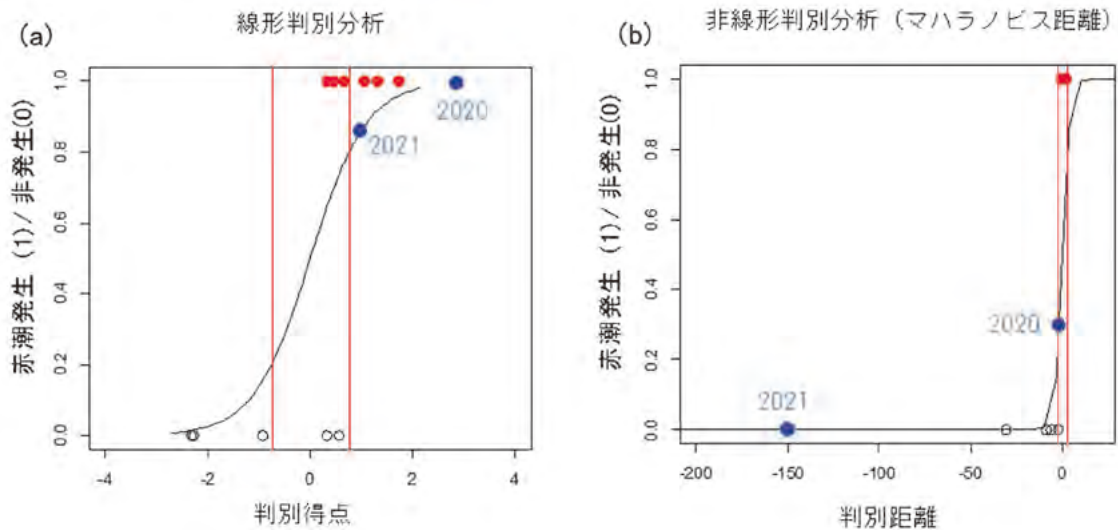


図 56 岡山県海域（備讃瀬戸）におけるユーカンピア赤潮の発生予察。使用データは、(a)が 12 月日照時間，12 月底層 $\text{PO}_4\text{-P}$ ，1 月底層水温，(b)が底層 $\text{SiO}_2\text{-Si}$ ，1 月底層水温。赤丸が発生年，白丸が局所発生年，青丸が 2020，2021 年の予察を表す。

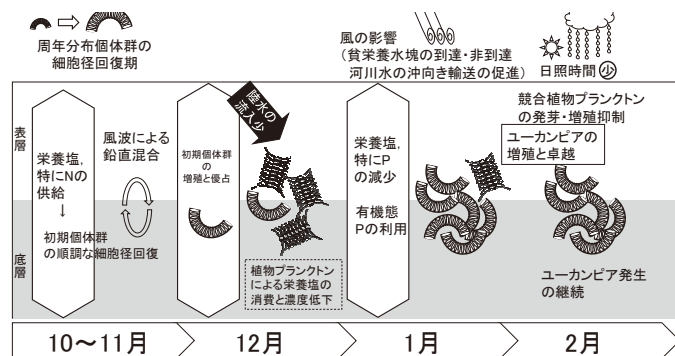


図 57 兵庫県海域（播磨灘）におけるユーカンピア赤潮の発生シナリオ模式図

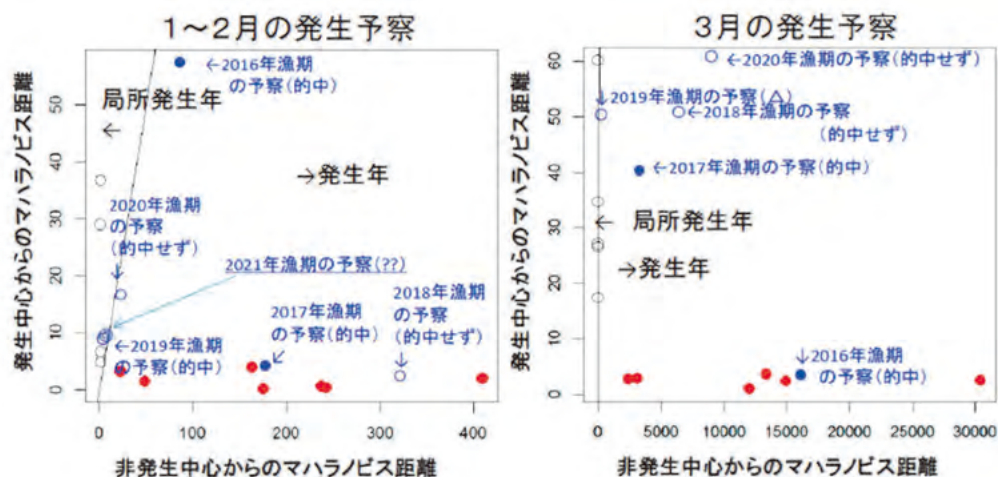


図 58 兵庫県海域（播磨灘）におけるユーカンピア赤潮発生予察結果。解析に用いた説明変数は、左：11 月の N/P 比と 1 月の $\text{PO}_4\text{-P}$ ，右：2 月の最高細胞数と 2 月の日照時間と 2 月の $\text{PO}_4\text{-P}$ 。赤丸が発生年，白丸が局所発生，青丸が 2016～2020 年，青二重丸が 2021 年の予察を表す。

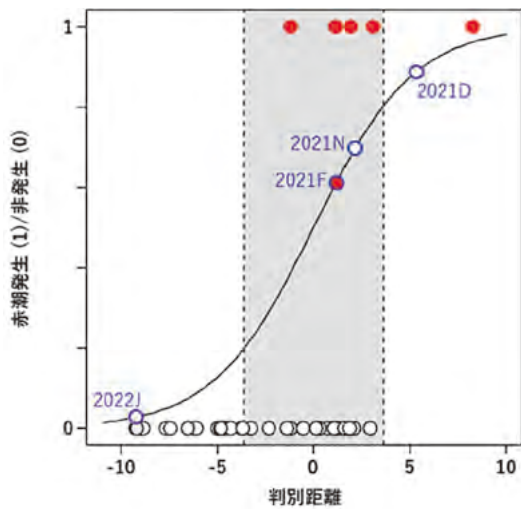


図 59 大阪府海域（大阪湾）におけるユーカンピア赤潮発生予察結果。●：赤潮発生月，○：非発生月，青記号・青字：予察結果（2021.2 は発生，2021.11～2022.1 は非発生）。網掛けは「△」予察範囲



図 60 大阪府海域におけるユーカンピア流入赤潮の発生シナリオ模式図

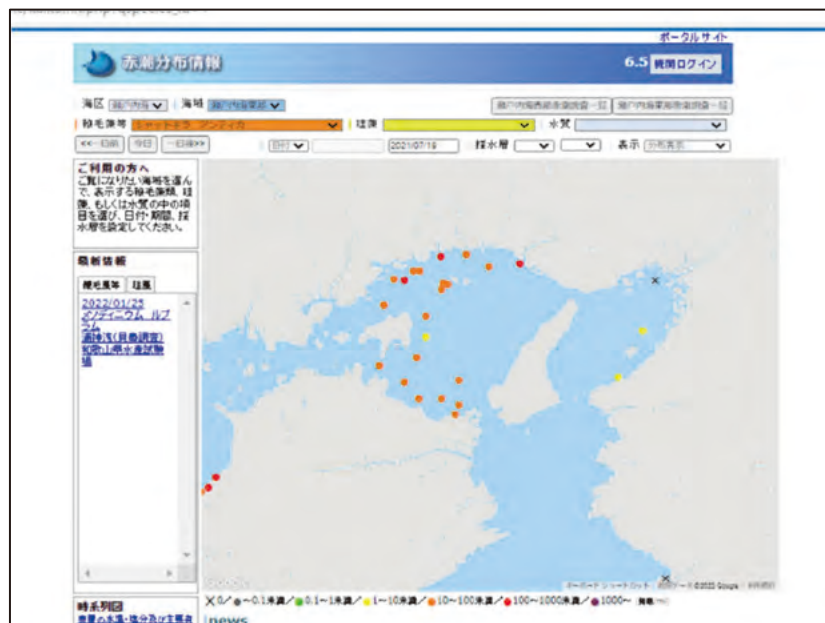


図 61 赤潮ネットの「赤潮分布情報」に設定された「瀬戸内海東部海域」における 2021/7/19 の *Chattonella antiqua* の細胞密度の水平分布図

1) 有害赤潮プランクトンの出現動態監視及び予察技術開発

イ. 瀬戸内海西部・豊後水道・土佐湾海域（重点海域）

山口県水産研究センター内海研究部

茅野昌大，吉村栄一，馬場俊典，畑間俊弘

広島県水産海洋技術センター

加川真行，相田 聡，村田憲一

福岡県水産海洋技術センター豊前海研究所

後川龍男，恵崎 撰

大分県農林水産研究指導センター水産研究部

宮村和良，野田誠，内海訓弘

大分県農林水産研究指導センター水産研究部北部水産グループ

徳丸泰久，都留勝徳

愛媛県農林水産研究所水産研究センター

平井真紀子，三門哲也，関信一郎

高知県水産試験場

上村海斗，占部敦史

愛媛大学沿岸環境科学研究センター

吉江直樹，郭 新宇

愛媛大学南予水産研究センター

清水園子，松原孝博，竹内久登

高知大学教育研究部自然科学系農学部門

山口晴生

水産研究・教育機構水産技術研究所

外丸裕司，三宅陽一，坂本節子，鬼塚 剛

1 全体計画

(1) 目的

瀬戸内海西部・豊後水道海域・土佐湾海域では有害赤潮プランクトンによる漁業被害が頻繁に発生しており，2012 年夏季には当該海域で広範囲に *Karenia mikimotoi* 赤潮が発生し，県によっては十数億円の過去最大の漁業被害が発生した。赤潮による漁業被害を未然防止および軽減するためには，赤潮発生海域を網羅した広域連携調査を実施する必要がある。本課題では各機関が連携して広範な調査を実施し，有害赤潮プランクトンの発生状況および海洋環境を監視するとともに，既存のモニタリングデータの解析，数値モデルを用いた解析等によって当該海域における有害赤潮の発生シナリオを構築し，赤潮発生予察や漁業被害軽減に資することを目的とする。

2 令和3年度計画および結果

(1) 目的

全体計画と同じ